授業科目名	保健		科目コード	1501004	
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース		学　年	1、2年
担当教員	川端　夏代				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 美容師実務経験１０年 平成 12 年１月　美容師免許取得 平成 16 年８月　美容保健教員資格取得				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	90 時間	
	必　須 ・ 選　択 ・ 選択必須		単　位　数	３単位	
使　用 テキスト１	書　名	保健			
	著　者	公益社団法人　日本理容美容教育センター			
	出版社				
使　用 テキスト２	書　名				
	著　者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
皮膚、毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識を美容技術と関連させながら学ばせ、美容師国家試験に合格させることを最終目的とする。

＜授業の概要・授業方針＞
　美容師になるために必要な知識、技能、態度の習得をするだけではなく、論理的思考力・合理的な物事の処理能力の育成、社会に対する適応力を身につけ今後の経済界の進展に応じた優位な職業人を育成していくことを目指したい。

＜成績基準・評価基準＞
筆記試験　80 点以上　（優）
　　70 点～79 点　（良）
　　60 点～69 点　（可）　※59 点以下は追試

＜使用問題集・注意事項＞
・美容師国家試験過去問題集
・ワークブック

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞

授業科目名	保健	
回	授　業　内　容	備　考
1～2	人体の構造及び機能 第１章　頭部、顔部、頚部の体表解剖学 １．人体各部の名称	
3～4	２．頭部、顔部、頸部の体表解剖学	
5～6	第１章　骨格器系 １．　骨の種類と構造	
7～8	２．　骨の連結	
9～10	３．　骨格器系とそのはたらき	
１１～１２	総合学習　第１章、第２章	
１３～１４	第３章　筋系 １．筋の種類とその特徴 ２．主な骨格筋とそのはたらき	
15～１６	３．顔面筋と表情運動 ４．理容・美容の作業と筋疲労	
１７～１８	第４章　神経系 １．神経系の成り立ち	
19～２０	２．中枢神経とそのはたらき ３．末梢神経とそのはたらき	
２１～２２	総合学習　第３章、第４章、	
２３～２４	第５章　感覚器系 １．視覚	
２５～２６	２．聴覚 ３．平衡感覚	
27～２８	４．味覚 ５．嗅覚 ６．皮膚感覚	
２９～３０	第６章　循環器系 １．血液のあらまし ２．血液循環の仕組み　　３．血液の循環経路	
３１～３２	４．心臓と血管のはたらき ５．リンパ管系の仕組みとはたらき	

３３～３４	総合学習　第５章、第６章	
３５～３６	第７章　呼吸器系 １．呼吸器系のあらまし　　２．気道	
37～３８	３．肺の仕組みとガス交換 ４．呼吸運動	
３９～４０	第８章　消化器系 １．消化器系のあらまし　　２．消化管の仕組み	
４１～４２	３．消化管のはたらき　　４．消化と物質代謝	
４３～４４	総合学習　第７章、第８章	
４５～４６	皮膚科学 第１章　皮膚の構造 １．皮膚の表面　　２．皮膚の断面	
４７～４８	３．表皮	
４９～５０	４．表皮と真皮の境 ５．真皮　　６．皮下組織	
５１～５２	７．皮膚の部位差	
５３～５４	第２章　皮膚付属器官の構造 １．毛	
５５～５６	２．脂腺　　３．汗腺	
５７～５８	４．爪	
５９～６０	第３章　皮膚の循環系と神経系 １．皮膚の血管　２．皮膚のリンパ管 ３．皮膚の神経	
６１	総合学習　第１章～第３章	
62	第４章　皮膚と付属器官の生理機能 １．対外保護作用 ２．体温調節作用　　３．知覚作用と皮膚反射	
63～６４	４．分泌排泄作用　　５．呼吸作用　６．吸収作用	
65～66	７．貯蔵作用　　８．免疫・解毒・排除作用 ９．ビタミンＤ形成作用　　１０．表情作用	
67～６８	１１．再生作用　　１２．毛のはたらき １３．爪のはたらき	
６９～７０	第５章　皮膚と付属器官の保健 １．皮膚と全身状態　　２．皮膚と精神 ３．皮膚と栄養　　４．皮膚とし好品	
７１	５．皮膚と体内病変　６。皮膚の水分と脂の状態	
72	７．皮膚・付属器官とホルモン　８．皮膚の保護と手入れ	
73	９．毛の保護と手入れ　　１０．爪の保護と手入れ	

	１１．リラックスによるスキンケア	
74～75	第６章　皮膚と付属器官の疾患 １．皮膚の異常とその種類　　２．皮膚疾患の原因	
76	３．皮膚疾患の治療法 ４．皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	
77	５．口唇の疾患 ６．温熱・寒冷による皮膚障害	
78	７．角化異常による皮膚疾患 ８．色素異常による皮膚疾患	
79～80	９．血管腫　　１０．下肢静脈瘤 １１．分泌異常による皮膚疾患	
81～82	１２．化膿菌による皮膚疾患 １３．ウィルスによる皮膚疾患	
83～84	１４．真菌による皮膚疾患 １５．動物による皮膚疾患	
85	１６．感染症の皮膚疾患の予防	
86～87	１７．毛と爪の疾患　　１８．皮膚の腫瘍	
88	総合学習　第４章～第６章	
89	総合学習　皮膚科学・期末試験	
90	総合学習　人体・期末試験	